



報道機関 各位

記者発表資料
令和2年10月22日（木）
1に関すること
問い合わせ先：広聴課
課長：池羽
担当：松田、今福
電話：829-1931
内線：2153
2に関すること
問い合わせ先：都市経営戦略部
副参事：大竹
担当：赤羽、伊藤
電話：829-1033
内線：2146

「さいたま市民意識調査」の調査結果（中間報告）の公表と 令和3年度以降のCS90運動について

1 さいたま市民意識調査の調査結果（中間報告）の公表

さいたま市では、広聴活動の一環として、施策に対する市民の意向等を把握し、今後の市政運営の参考とするため、市民意識調査を平成19年度から毎年実施しています。

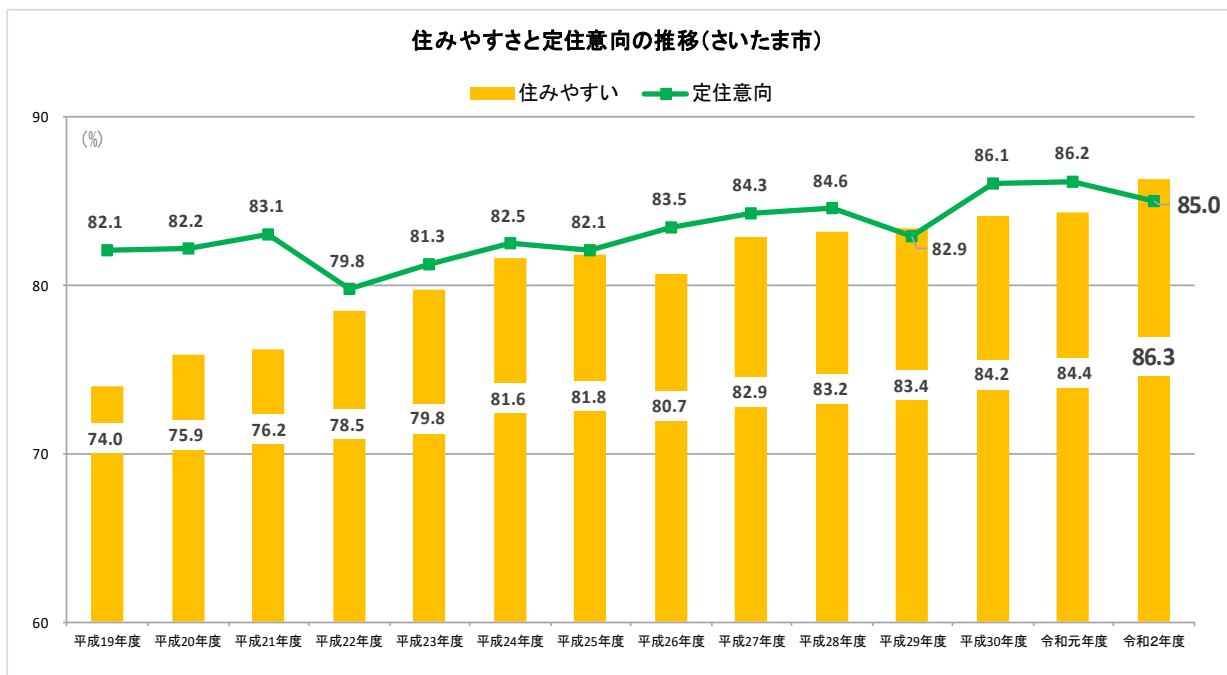
このたび、令和2年度「さいたま市民意識調査」の調査結果（中間報告）について公表します。

（1）調査結果（抜粋）

住みやすい人は、調査開始以降最高値となる86.3%

住み続けたい人は、8割半ばで推移

今の地域が住みやすいと思う人（「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」の合計）は86.3%、住み続けたい人（「ずっと住み続けたい」+「当分の間住み続けたい」の合計）は85.0%となり、高い水準で増加基調が続いています。また、住みやすいと思う人は調査開始以降最高値となりました。



(2) 調査のあらまし等

<調査のあらまし>

	在住者意識調査	在勤者意識調査
調査地域	さいたま市全域	さいたま市全域の事業所
調査対象	さいたま市在住の満18歳以上の男女	さいたま市外からさいたま市内に通勤する満18歳以上の男女
調査対象数	5,000人	2,000人
抽出法	住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出	市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
調査方法	郵送配布・郵送回収法	
調査期間	令和2年7月20日～8月6日	
回収結果	有効回収数 2,691	有効回収数 634

<調査項目>

在住者意識調査		在勤者意識調査
①地域での生活	④市政との関わり	①さいたま市のイメージ ②市内での活動
②地域のイメージ	⑤市政への満足度・重視度	
③さいたま市のイメージ	⑥今の地域を選んだ理由	

(3) 配置場所

「報告書」は、各区役所情報公開コーナーに閲覧用として配置します。また、市ホームページからもダウンロードできます。

2 令和3年度以降のCS90運動について

本市では、平成27年度から、「住みやすい」、「住み続けたい」と感じてもらえる市民を増やし、2020年に市民満足度90%以上を達成することを目標とする『さいたま市CS90運動』に取り組んでまいりました。

目標年となる今年度の市民意識調査において、市民満足度は86.3%となりましたが、市民満足度を向上させることは市として普遍的な課題です。

そのため、本市では、CS90運動の取組を一過性のものとすることなく、新たなステージに向かってこれまで以上に推進するため、次のとおり、市民満足度の向上に向けて、引き続き取り組んでまいります。

(1) 名称

CS90 + ^{ぶらす}運動

(2) 目標年

2030年

(3) これまでの取組に加え、重点的に取り組む事項

- ・市民の視点に立った業務改善の推進
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・職員満足度（ES）向上による業績向上
- ・先進的な取組の発信
- ・CS・SDGsパートナーズの創設